

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

保険流産絨毛染色体検査（POC）結果に基づく患者心理と対応の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2022年4月1日から2025年12月までの期間に、昭和医科大学横浜市北部病院産婦人科において流産または死産と診断された患者のうち、過去に1回以上の流産または死産の既往を有し、流産絨毛染色体検査（POC）を実施した症例

2. 研究目的・方法

本研究では、流産や死産を経験された患者さんに対して行われた流産・死産絨毛染色体検査（赤ちゃんのもととなる組織の染色体を調べる検査）の結果説明の際に、患者さんがどのように感じ、受け止められたかについて調べます。具体的には、診療録に記載された検査結果説明時の患者さんの発言内容をもとに、患者さんの背景を踏まえたうえで、①検査結果で「染色体に異常がみられなかった場合」、②検査結果で「染色体の異常が確認された場合」の2つのグループに分けて比較します。

患者さんの発言内容は、心理的な反応の種類ごとに整理し、どのような傾向があるかを分析します。本研究は、すでに診療の中で得られた情報を用いて行うものであり、新たな検査や追加の質問を行うことはありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、新たな試料の採取は行いません。

診療の過程で得られた、以下の診療情報を用いて研究を行います。

- 年齢、妊娠・出産歴、流産・死産の回数などの患者背景に関する情報
- 流産または死産の時期に関する情報
- 流産・死産絨毛染色体検査の結果に関する情報
- 検査結果説明時の診療録に記載された患者さんの発言内容

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学横浜市北部病院 産婦人科 講師 奥山亜由美

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院 産婦人科

氏名：奥山亜由美

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7768